

令和2年度

文部科学省事業

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）

研究開発実施報告書（第2年度）

研究開発構想名

未病・防災～高齢者比率約4割の町で高校生が挑む少子高齢化



神奈川県立山北高等学校

～今を知り、未来を創造する～

神奈川県立山北高等学校
校長 岩本 明子

文部科学省から「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）」に本校が採択され2年となりました。本冊子はこの2年目の実践をまとめたものです。ようやくお届けできるようになりました。どうぞ、御覧いただき、御助言・御感想をお寄せいただけたら幸甚でございます。



2年目となった令和2年度は、想定できなかつたほどのCOVID-19の感染拡大があり、当初の計画を変更せざるを得なかつた1年間となってしまいました。そうした中で「アフターコロナ」「ウィズコロナ」を意識した計画に修正し、生徒の成長を促せるよう研究を一步一步進めることができたのは、県教育委員会、山北町をはじめとする様々な機関・企業・団体等に御指導、御協力をいただいたことが大きいと思います。あらためて、感謝申し上げます。

山北高校は、昭和17年に町立の女学校として地元の熱い思いから生まれた学校です。しかしながら、この研究が始まるまで、自分たちの学校が立地している地元、「山北町」に関心を寄せる生徒は多くはありませんでした。今回、この研究を進めていく中で「山北町の生活や仕事に興味があった」という言葉が生徒たちから出てきました。これは、生徒一人ひとりがテーマであった「山北町」を調べたばかりではなく、フィールドワークで山北町の方々と接したことから得られた心情だと思えます。このように「ひととひととのふれあい」が自分自身を育てる、ということを生徒たちが体験的に学んだことは大きな収穫です。

今回の研究ではSDGsをベースに、超少子高齢化が全国より早く進んでいる山北町、多くの生徒の生活場面である神奈川県西部の自治体に対して政策提言ができることを目指してきましたが、2年が経過した今「この研究の過程にこそ大きな学びのチャンスが存在している」という実感があります。生徒が未来の姿を想像し、自らの未来を創造していく中で、どのように気づき、成長していくかを検証することは大切なことと思われまふ。

令和3年度、最終年度をいよいよ迎えます。令和3年1月26日には、中央教育審議会答申において「地域や社会の将来を担う人材の育成を図るために、現在及び将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な学びに重点的に取り組む学科」についての言及があり、年度末には学校教育法施行規則等の一部を改正する省令等が公布されました。山北高校ではこの研究が、目の前にいる生徒・将来の生徒に何を残せるかということを見点にさらなる取組の推進を図ってまいります。今後も御指導、御支援をお願いいたします。

山北高等学校 グランドデザイン

学校教育方針

着実に努力

YAMAKITA HIGH SCHOOL Since 1942

山北高校は5つの力を育てます

Consider

自他を思いやる力



学校教育目標

Challenge

挑戦する力

- ① 自他の幸福を求める心と健やかな身体を育てる。
- ② 基礎的な知識・技能を身に付け、それらを活用して探究する力を育てる。
- ③ 地域と共にスポーツと文化活動に取組み、その意義と悦び、成果を地域に還元、普及、発信する力を育てる。
- ④ 社会において果さなければならない使命を自覚し、個性に応じて将来の進路を決定する力を育てる。
- ⑤ 他者理解を前提としたコミュニケーション力を育てる。

協働する力

Cooperate

未来を切り拓く力

Create

伝える力

Convey

「5つの力」を育てる山高のリソース

教育課程・学習指導

- ・教科横断型授業の推進
- ・文系、理系、スポーツ系のクラス展開
- ・ICTの積極的活用

生徒指導・支援

- ・規範意識や自律心の醸成
- ・個に応じたサポート体制を担う教育相談環境

特別活動・部活動

- ・高校生としての誇りと責任を生む「一人が全校を代表する」意識
- ・主体性を育む「部活動」

進路指導・支援

- ・全生徒一人ひとりの多様な進路実現に向けたガイダンスの実績、丁寧な個別指導

地域等との連携

- ・地域との協働による、SDGs等今日的な課題解決能力の育成と地域人材の育成

目次

○ 巻頭言	
○ 山北高等学校グランドデザイン	
○ 目次	
I 研究開発の概要	1
研究開発実施計画書	2
研究開発概念図	6
ロジックモデル	7
II 令和2年度の研究開発の内容	8
III 取組概要 ～未来へ向かう探究のキセキ～	12
1 総合的な探究の時間「未来探究」（1学年）	13
(1) 山北	16
(2) 未病	26
(3) 防災	32
(4) フィールドワーク	42
2 総合的な探究の時間「未来探究」（2学年）	47
(1) My プロジェクト	47
(2) フィールドワーク	56
3 学校設定教科「あしがら」（2学年）	59
(1) 学校設定科目「未病」	59
(2) 学校設定科目「地域防災」	63
4 校内発表会	69
(1) 学校設定教科「あしがら」コース別校内発表会	69
(2) 未来探究校内発表会	73
5 RESASの活用	76
IV 研究開発実施の効果と評価	78
1 研究開発目標の効果と評価	79
2 地元への興味・関心及び探究的学びに関するアンケート調査	81
3 未来探究の学習指導における一般教科への影響	83
4 カリキュラム開発等専門家の視点からの評価と課題	85
V 関係資料	87
1 運営指導委員会	
2 山北未来コンソーシアムについて	
3 目標設定シート	
4 国立教育政策研究所インタビュー記録	
5 学校だより「山高」（山北町内全自治会に向け回覧用として配付）	
6 広報「やまきた」令和2年12月号掲載（地域に向けての取組紹介）	